

高等学校第1学年芸術科（美術I）学習指導案

指導者 教諭 野村 直子

- 1 題材名 アクリル絵の具で描く自画像
- 2 題材の目標及び指導計画等（15時間扱い）

題材名	アクリル絵の具で描く自画像		全日制 普通科	第1学年
題材 目標	美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
	絵画表現の多様性に興味をもち、意欲的に制作に取り組もうとする。	自分の制作意図を明確にし、それに合う色調・技法・背景・構図を構想することができる。	アクリル絵の具の特性を知り、自分の思いに合った表現技法を創意工夫しながら表現することができる。	他者の思いや、多様な表現のよさや美しさを感じ取り、味わうことができる。
指導 計画	○ 前題材において、鉛筆による自画像デッサン（4時間扱い）を完成させている。			
	第1次	課題説明，下絵制作①（自画像デッサンのトレース）		1時間
	第2次	自画像を制作する。		
	第1時	絵の具ウォーミングアップⅠ（①三原色，②言葉のイメージ）		1時間
	第2時	絵の具ウォーミングアップⅡ（③モダンテクニック）		1時間
	第3時	下絵制作②（キャンバスボードに描く）		1時間
	第4時～	アクリル絵の具による着彩		10時間
第3次	鑑賞会を行う。			1時間
準備・ 資料	<教師> 参考作品，ワークシート，キャンバスボード（F6），トレーシングペーパー，マスキングテープ，鉛筆，ローラー，スポンジ，ペインティングナイフ，スパッタリング用具（網，ブラシ），画用紙，筆洗			
	<生徒> アクリル絵の具セット（12色），筆（彩色筆，平筆，面相筆），パレット，雑巾			
次	時	学習活動・内容	指導上の留意点	評価
1	1	<b>1 本題材の課題をつかむ。</b> ・参考作品（教科書図版，生徒作品）を鑑賞し，題材目標と制作手順を確認する。	・自画像からなぜ思いが伝わるのかを考えさせることで，表現技法の多様性に興味をもつことができるようにする。	【関心】絵画表現の多様性に興味をもち，意欲的に活動しようとしている。（観察） 【鑑賞】多様な表現のよさや美しさを感じ取っている。（発表，観察）
		<b>2 下絵制作①</b> ・自画像デッサンをトレーシングペーパーにトレースする。	・再度デッサンする気持ちで，伸びやかな線を描くように助言する。	【技能】前題材のデッサンの線を生かしてトレースしている。（作品）

<p>1</p>	<p><b>3 絵の具ウォーミングアップ I</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクリル絵の具の特性と筆洗の使い方を理解する。</li> </ul> <p>① 三原色を使って複雑な色をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤・青・黄の絵の具を出す。</li> <li>・橙・緑・紫を混色してつくる。</li> <li>・黒・その他の色味をつくる。</li> </ul> <p>② 言葉のイメージを絵の具で表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・希望 ・優しい ・暖かい</li> <li>・冷たい ・悲しい ・絶望</li> <li>・絵の具の色や塗り方を工夫して、自由に表現する。</li> <li>・作品を鑑賞し、感じたことを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクリル絵の具は速乾性・耐水性であるため、注意事項を伝える。</li> <li>・水の加減で色の濃さが変わることを体験させる。</li> <li>・自由に体験することで、自ら方法を考えさせる。</li> <li>・列ごとに言葉の書かれたカードを選ばせ、ゲーム感覚で興味を引き出す。</li> <li>・形で表現してもよいが、文字を使わないように注意する。</li> <li>・同じ言葉からイメージした作品の共通点は何かを考えさせる。</li> </ul>	<p>【発想や構想】自分らしい豊かな発想をしている。（観察，作品）</p> <p>【技能】言葉のイメージを基に、表現技法を工夫している。（観察，作品）</p>
<p>2</p>	<p><b>4 絵の具ウォーミングアップ II</b></p> <p>③ モダンテクニック体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A アクションコース (ドリッピング)</li> <li>B 水まかせコース (にじみ)</li> <li>C 筆を使わないコース (ローラー， スポンジ， ペインティングナイフ， 指)</li> <li>D スパッタリングコース</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各コースの中から一つを選択し、技法の体験をする。</li> <li>・できた作品を鑑賞する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始めにモダンテクニックの基本技法を説明し、後は各自で応用できるように支援する。</li> <li>・アクリル絵の具に慣れるように、積極的に作業させる。</li> <li>・他コースの生徒の技法を見ることで、表現の多様性に気付かせる。</li> </ul>	<p>【関心】多様な技法を意欲的に試そうとしている。（観察，作品）</p> <p>【技能】試したことを基に、アクリル絵の具や用具の特性を生かしながら、工夫して表現している。（観察，作品）</p>

2	3	<b>5 下絵制作②</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンバスボードに自画像を転写する。</li> <li>・背景などを描き加えて下絵を完成させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構図をよく吟味してから転写するよう促す。</li> <li>・背景に悩んでいる生徒には、自分の内面を表現するには、どんな色や形が合うか、具体的に会話しながら、制作を進めることができるようにする。</li> </ul>	<b>【発想や構想】</b> 自分の制作意図を明確にし、それに合う構図・背景を考えている。(作品)	
	4 ～	<b>6 アクリル絵の具による着彩</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵の具ウォーミングアップを生かして、着彩する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色が単調になっている生徒には、混色を促す。また、どんな気持ちを表現しているのか期間巡視の際に会話をすることで、制作意図を明確にしていく。</li> <li>・絵の具ウォーミングアップ I, II で学習した内容を生かすことができるよう、生徒一人一人の主題を確認しながら指導に当たる。</li> </ul>	<b>【関心】</b> 意欲的に制作しようとしている。 (観察, 作品)  <b>【発想や構想】</b> 主題を基に、形や色彩の効果を生かして表現の構想を練っている。(作品)  <b>【技能】</b> アクリル絵の具や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う表現方法を工夫して表現している。 (観察, 作品)	
3	1	<b>7 鑑賞会をする。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品鑑賞カードを記入する。(作品タイトル, 制作意図, それを表現するための工夫や技法など)</li> <li>・友人の作品を鑑賞し, コメントを書く。(コメントカード: グループ5枚, 全体2枚)</li> <li>・自己評価カードを記入する。(自己評価, 鑑賞の感想, 自画像制作を通して感じたことなど)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作意図とそれを表現するための工夫や技法は, 整合性をもたせる。また, 色調・技法・背景・構図などについて具体的に工夫点を書かせる。</li> <li>・作品鑑賞カードを読ませ, 単純な感想ではなく, なぜそう思うのか深く考えさせる。</li> <li>・自画像の制作と鑑賞を通して, 感じたことや考えたことなどをまとめさせる。</li> </ul>	<b>【鑑賞】</b> 他者の思いや, 多様な表現のよさや美しさを感じ取り, 味わっている。 (作品鑑賞カード, 自己評価カード)	
評価 規 準	美術への関心・意欲・態度		発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
	絵画表現の多様性に興味をもち, 意欲的に制作に取り組もうとしている。		自分の制作意図を明確にし, それに合う色調・技法・背景・構図を構想している。	アクリル絵の具の特性を知り, 自分の思いに合った表現技法を創意工夫しながら表現している。	他者の思いや, 多様な表現のよさや美しさを感じ取り, 味わっている。